

港祭りの歴史

5205S

1 テーマ設定の理由

港祭りは好きだし太鼓とか虎舞のことを知りたかったからです。

年に一度しかない港祭りのことやはまらんやのことの歴史が不思議でたまりませんでした。

気仙沼のみんなが楽しみにしている港祭り！

私は、いつから始まったか、太鼓や花火のことなど知りたいと思いました。この祭りは、気仙沼にしかないものなので、いろいろな人に気仙沼のみなと祭りを知ってほしいと思いました。特に、私は太鼓に興味があります。太鼓はみなと祭りにむけてどのように練習しているのか知りたいです。

みなと祭りは昔からつたわってきた文化なので興味をもって調べたいと思いました。

2 研究内容

(1) 太鼓やししまいをやっている人に聞いてみた

太鼓は海外の人も参加しており楽しんでいました。

みなと祭りが初めて開きされてからずっと太鼓は参加しており、今年で63回になります。毎年祭りの一ヶ月前くらいから練習して当日を迎えるそうです。今年は急ぎょ海外の人も参加し一到団結して楽しくやったそうです。

虎舞をやっているとき大変なことは、なるべく本物の虎の動きをすることだそうです。

太鼓や虎舞をやっているとき楽しいことは、見ている人が笑顔になること！虎舞いま去年同様特別ステージが設けられかく団体の虎舞いがひろうされました。やはりどの団体も曲に合わせて本物の虎が舞っているようすばらしかったです。

(2)みなと祭りの歴史

いっごろどのような理由で始まったか

気仙沼みなと祭りの第一回は昭和26年7月に行われました。でも同じようなお祭りは昭和24年8月にも行われました。ちなみに昭和25年にお祭りが行われなかったのは、戦後で、気仙沼の人たちにアンケートで聞いてみたら、アンケートそのものにこたえてくれる人も少なく、だれもお祭りをやりたがらないのでは、ということになり、お祭りをやらないことにしようと話し合いで決まったそうです。昭和20年8月まで日本は、外国と大きな戦争をして負けました。その戦争の途中からずっと日本は明るい出来事が少なく戦争に負けたことでしばらくの間は、明るい出来事が少ないままでした。このため明るく楽しいことをみんなで作ろうと、この気仙沼の人たちが考えて「気仙沼みなとまつり」を始めました。みなと祭りは、戦争が終わったあとみんなで考えて始まったお祭りです。気仙沼に昔からあったお祭りをまた始まることで町中をにぎやかにしようと当時の人は、考えたかもしれません。気仙沼では、200年以上まえから各地区の神社やお寺で夏祭りが行われていました。



これは、みなと祭りの写真です♪
とてもきれいな花火ですね！！

気仙沼の港でとった写真です☆

(3) どのような内容を行っているか?

第62回(平成25年8月10日の港祭り)

オープニングセレモニー

街灯パレード・はまらんや踊り53団体、2500

打ちばやし大競演26団体3400名が参加

海上打ち上げ花火大会2400発打ち上げ

大漁祈願祭

オープニングセレモニー

大はまらんや踊り61団体3400名が参加

街灯パレード15団体約1000名が参加

伝統芸能市民広場演技

五色祝賀放水

カッター競漕大会

突きん棒漁実きょう

大漁唄込み

打ちばやし大競演

大灯ろう

海上うんずら

海上花火大会4000発花火が海上で打ち上げる

こんなかんじで行っている。

3. 今後の課題

みなと祭りを続けていくにつれてみなと祭りに参加する人や観光する人数が減っていかないのか?

参加する方々(太鼓や虎舞をやる人たち)がみなと祭りを盛り上げているので、その方々を応援しに見学者が集まるので少なくなることはないそうです。また、「はまらいや」など、お客さんがみなと祭りに参加する形式も取っており、港祭りは気仙沼市民みんなで盛り上げているお祭りです。なので、お客さんを増やすための対策は、あまりとっていないそうです。

4. 感想

一生懸命がんばって調べました。人に聞いたり資料を見てたくさん勉強しました。調べたことをパソコンで、発表するのは、初めてでうまくできるか心配

でした。でもやってみたら、うまくできました。スムーズにはで、きなかったけどでも、楽しくできてよかったです。

さまざまな所に行って勉強しました。

分かったことは豊かな海がないと、このみなとまつりができないことです。2011年3月11日気仙沼は震災にあいました。そのためみなと祭りができなく海もよごれこまっていました。人が集うことでさまざまな人が楽しんでもらえるように昔の人たちが考えたお祭りです。みなとまつりは昭和26年7月に開かれたそうです。

戦争によって明るい出来事がなく人々が考えたおまつりだということ。

この勉強をやって、初めてわかった事がたくさんありました。

また、今後の課題について商工会議所のかたからお話を伺い、改めて「気仙沼港祭り」は市民みんなで作っている、市民のためのお祭りなのだということが分かりました。